湯河原ロータリークラブ
WEEKLY REPORT

2020年7月17日(金)　天気：くもり
例会　第2807回　合唱：奉仕の理想

ロータリーは機会の扉を開く

会　長　山本明峰
幹　事　佐藤友彦

事務所：神奈川県足柄下郡湯河原町宮上566 湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234　FAX 0465(63)1716
例会場：ニューウェルシティ湯河原　静岡県熱海市泉107
TEL 0465(63)3721　FAX 0465(63)6401
例会日：毎週金曜日　12:30〜13:30

会長挨拶

7月のお盆が終わり、例年ですと昨日、今日と二日に渡って泉地区の 4 ケ寺で施餓鬼会という行事が営まれます。今年はコロナ禍にあってどのお寺も規模を大幅に縮小しての実施ということになりました。施餓鬼会とは「餓」えた「鬼」に飲食を「施」す儀式ですが、そもそも餓鬼とは六道輪廻の餓鬼道に堕ちたもの、生きること即ち食べることであるような、その状態。毎日、今日は食べ物にありつけるか、そして食い繋いで何とか一日生き長らえたい、そんなことで心がいっぱいな者、その有り様ということです。何百万年という人類史を俯瞰すれば、実は大方が餓鬼の状態であったのではないか、とすると、施餓鬼会も先祖供養という様相を帯びてきます。京都や奈良の大寺ではこの行事、平安の昔から営まれていたようですが、地方の末寺で行われるようになったのは飢饉や流行病がきっかけとなった事も多いようです。呼吸器に疾患を招く感染症ではなく、消化器系の、主症状が下痢であったりする病ですね。愛する我が子が餓鬼のように痩せ細って死んで行く。その供養にとせめてもの願いを込めて勤められた儀式です。

出席報告	ゲスト 0名　ビジター 1名	会員25名
	欠席 7名(免除者2名)	前回の修正出席率 87.50%
	出席率 78.26%	前々回の修正出席率　92.00%

事前メークアップ　0名
ビジター　第2780地区第9グループガバナー補佐
露木　清勝様

幹事報告

なし
1．次週は祝日休会です。３１日はガバナー公式訪問です。特別会費が５０００円かかりますので皆様宜しくお願いします。

スマイル BOX

7/17〜7/30

会員誕生日　安江仁孝君（７／１４）
会員誕生日　石川　博君（７／２２）
会員誕生日　小倉高代君（７／２３）

青木義美君
売上減って持続か給付金出ましたがうれしいやら悲しいやら複雑な思いです

青木義美君
一昨日、高知尾さんの会社の出入り会に参加させて頂きました、湯河原メンバーが沢山いて3次会までお付き合いしちゃいました。

土屋一弘君　二人目のひ孫ができました。

山本明峰君･石田浩二君･佐藤友彦君
露木ガバナー補佐ようこそ湯河原ロータリークラブへお越し下さりました。本日と７月３１日（金）宜しくお願い致します。

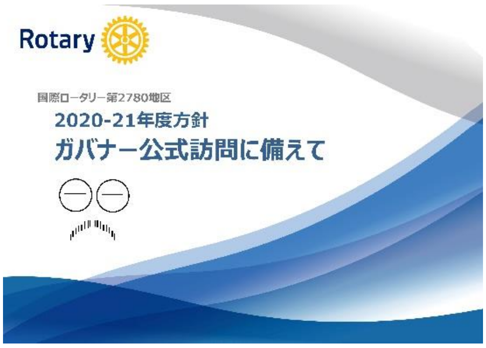
神谷一博君
第２７８０地区第９グループ露木清勝ガバナー補佐様、本日は湯河原ロータリークラブへのご指導ありがとうございます。今後共ご指導よろしくお願い致します。

伊藤伸之君
露木ガバナー補佐におかれましてはコロナという最悪の情況の中、お役目大変ご苦労様です色々ご指導いただければ幸いです。

第２７８０地区第９グループガバナー補佐
露木清勝君
本年度ガバナー補佐を務めさせていただきます小田原城北ＲＣの露木と申します。力不足ではございますがよろしくお願い申し上げます。

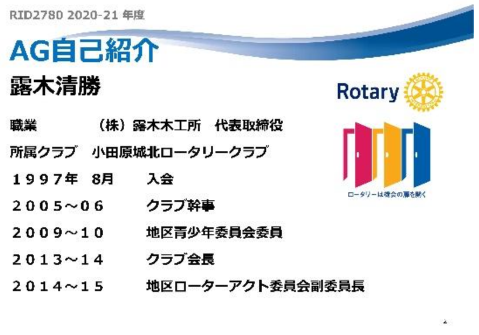
卓話：ガバナー補佐公式訪問

第 2780 地区第９グループ
ガバナー補佐　露木清勝君



Rotary

国際ロータリー第2780地区
2020-21年度方針
ガバナー公式訪問に備えて



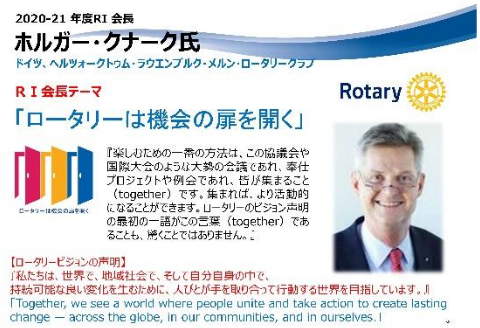
RID2780 2020-21 年度

AG自己紹介

露木清勝

職業	（株）露木木工所　代表取締役
所属クラブ	小田原城北ロータリークラブ
１９９７年　8月	入会
２００５～０６	クラブ幹事
２００９～１０	地区青少年委員会委員
２０１３～１４	クラブ会長
２０１４～１５	地区ローターアクト委員会副委員長

Rotary
ロータリーは機会の扉を開く



2020-21 年度RI 会長

ホルガー・クナーク氏

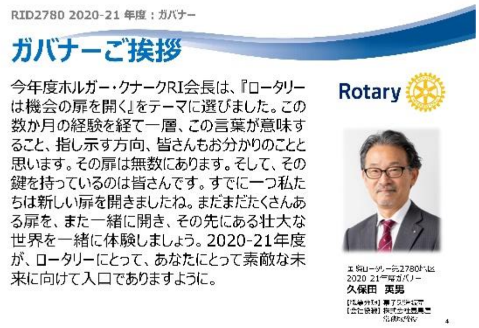
ドイツ、ヘルツォークトゥム・ラウエンブルク・メルン・ロータリークラブ

ＲＩ会長テーマ

「ロータリーは機会の扉を開く」

『楽しむための一番の方法は、この協議会や国際大会のような大勢の会議であれ、奉仕プロジェクトや例会であれ、皆が集まること（together）です。集まれば、より活動的になることができます。ロータリーのビジョン声明の最初の一語がこの言葉（together）であることも、驚くことではありません。』

【ロータリービジョンの声明】
『私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、
持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。』
「Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change — across the globe, in our communities, and in ourselves.」

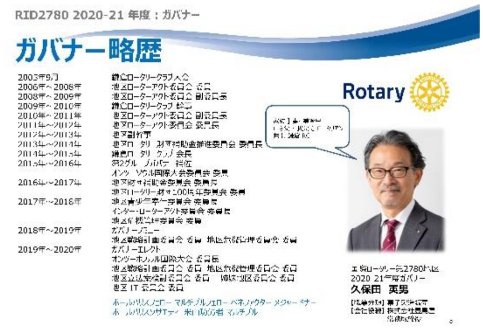


RID2780 2020-21 年度：ガバナー

ガバナーご挨拶

今年度ホルガー・クナークRI会長は、『ロータリーは機会の扉を開く』をテーマに選びました。この数か月の経験を経て一層、この言葉が意味すること、指し示す方向、皆さんもお分かりのことと思います。その扉は無数にあります。そして、その鍵を持っているのは皆さんです。すでに一つ私たちは新しい扉を開きましたね。まだまだたくさんある扉を、また一緒に開き、その先にある壮大な世界を一緒に体験しましょう。2020-21年度が、ロータリーにとって、あなたにとって素敵な未来に向けて入口でありますように。

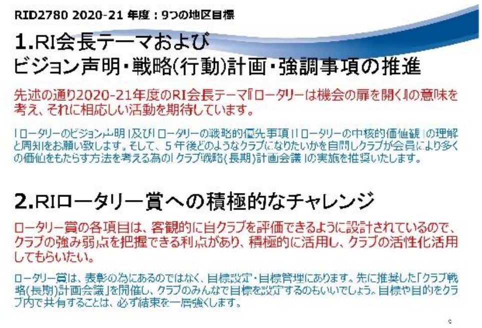
国際ロータリー第2780地区
2020-21年度ガバナー
久保田　英男



RID2780 2020-21 年度：ガバナー

ガバナー略歴

国際ロータリー第2780地区
2020-21年度ガバナー
久保田　英男



RID2780 2020-21 年度：9つの地区目標

1.RI会長テーマおよび
ビジョン声明・戦略(行動)計画・強調事項の推進

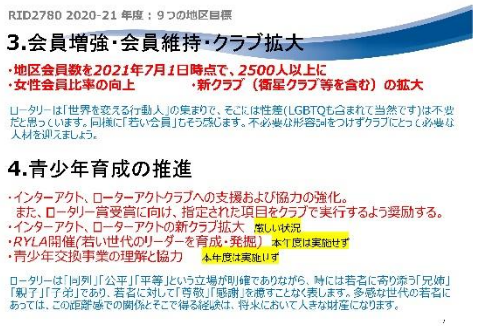
先述の通り2020-21年度のRI会長テーマ『ロータリーは機会の扉を開く』の意味を考え、それに相応しい活動を期待しています。

「ロータリーのビジョン声明」及び「ロータリーの戦略的優先事項」「ロータリーの中核的価値観」の理解と周知をお願い致します。そして、５年後どのようなクラブになりたいかを自問しクラブが会員により多くの価値をもたらす方法を考える為の「クラブ戦略(長期)計画会議」の実施を推奨いたします。

2.RIロータリー賞への積極的なチャレンジ

ロータリー賞の各項目は、客観的に自クラブを評価できるように設計されているので、クラブの強み弱点を把握できる利点があり、積極的に活用し、クラブの活性化活用してもらいたい。

ロータリー賞は、表彰の為にあるのではなく、目標設定・目標管理にあります。先に推奨した「クラブ戦略(長期)計画会議」を開催し、クラブのみんなで目標を設定するのもいいでしょう。目標や目的をクラブ内で共有することは、必ず結束を一層強くします。



RID2780 2020-21 年度：９つの地区目標

3.会員増強・会員維持・クラブ拡大

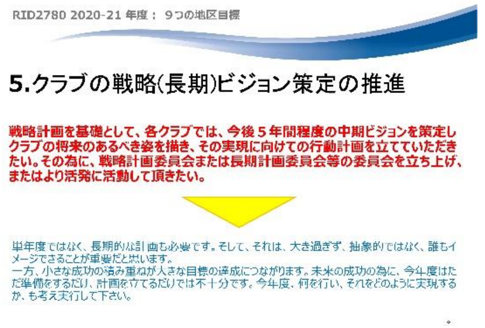
・地区会員数を*2021*年*7*月*1*日時点で、*2500*人以上に
・女性会員比率の向上　　　　・新クラブ（衛星クラブ等を含む）の拡大

ロータリーは「世界を変える行動人」の集まりで、そこには性差(LGBTQも含まれて当然です)は不要だと思っています。同様に「若い会員」もそう感じます。不必要な形容詞をつけずクラブにとって必要な人材を迎えましょう。

4.青少年育成の推進

・インターアクト、ローターアクトクラブへの支援および協力の強化。
　また、ロータリー賞受賞に向け、指定された項目をクラブで実行するよう奨励する。
・インターアクト、ローターアクトの新クラブ拡大　厳しい状況
・*RYLA*開催(若い世代のリーダーを育成・発掘)　本年度は実施せず
・青少年交換事業の理解と協力　本年度は実施せず

ロータリーは「同列」「公平」「平等」という立場が明確でありながら、時には若者に寄り添う「兄姉」「親子」「子弟」であり、若者に対して「尊敬」「感謝」を臆すことなく表します。多感な世代の若者にあっては、この距離感での関係とそこで得る経験は、将来において大きな財産になります。



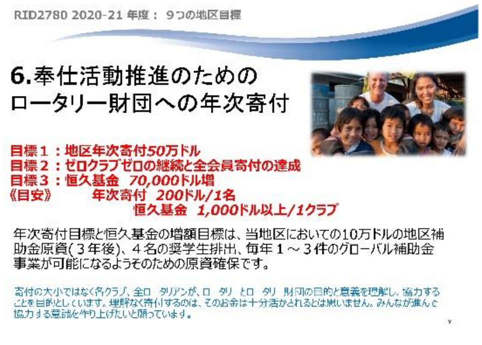
RID2780 2020-21 年度：９つの地区目標

5.クラブの戦略(長期)ビジョン策定の推進

戦略計画を基礎として、各クラブでは、今後５年間程度の中期ビジョンを策定しクラブの将来のあるべき姿を描き、その実現に向けての行動計画を立てていただきたい。その為に、戦略計画委員会または長期計画委員会等の委員会を立ち上げ、またはより活発に活動して頂きたい。

▼

単年度ではなく、長期的な計画も必要です。そして、それは、大き過ぎず、抽象的ではなく、誰もイメージできることが重要だと思います。
一方、小さな成功の積み重ねが大きな目標の達成につながります。未来の成功の為に、今年度はただ準備をするだけ、計画を立てるだけでは不十分です。今年度、何を行い、それをどのように実現するか、も考え実行して下さい。



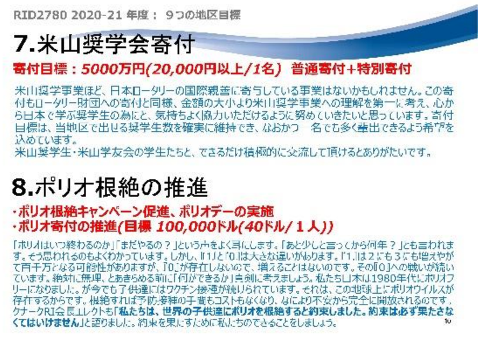
RID2780 2020-21 年度：９つの地区目標

6.奉仕活動推進のための
ロータリー財団への年次寄付

目標１：地区年次寄付*50*万ドル
目標２：ゼロクラブゼロの継続と全会員寄付の達成
目標３：恒久基金　*70,000*ドル増
《目安》　　年次寄付　*200*ドル/*1*名
**　　　　　　恒久基金　*1,000*ドル以上/*1*クラブ**

年次寄付目標と恒久基金の増額目標は、当地区においての10万ドルの地区補助金原資(３年後)、４名の奨学生排出、毎年１～３件のグローバル補助金事業が可能になるようそのための原資確保です。

寄付の大小ではなく各クラブ、全ロータリアンが、ロータリーとロータリー財団の目的と意義を理解し、協力することを目的としています。理解なく寄付するのは、そのお金は十分活かされるとは思いません。みんなが進んで協力する意識を作り上げたいと願っています。



RID2780 2020-21 年度：９つの地区目標

7.米山奨学会寄付

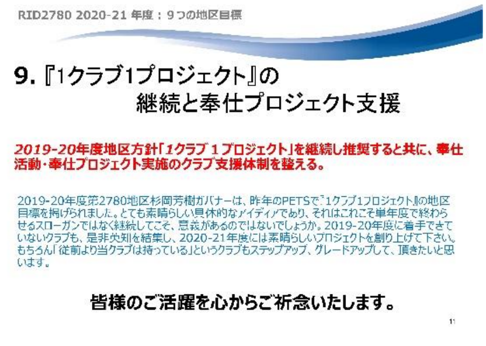
寄付目標：*5000*万円(*20,000*円以上/*1*名)　普通寄付＋特別寄付

米山奨学事業ほど、日本ロータリーの国際親善に寄与している事業はないかもしれません。この寄付もロータリー財団への寄付と同様、金額の大小より米山奨学事業への理解を第一に考え、心から日本で学ぶ奨学生の為にと、気持ちよく協力いただけるように努めていきたいと思っています。寄付目標は、当地区で出せる奨学生数を確実に維持でき、なおかつ一名でも多く輩出できるよう希望を込めています。
米山奨学生・米山学友会の学生たちと、できるだけ積極的に交流して頂けるとありがたいです。

8.ポリオ根絶の推進

・ポリオ根絶キャンペーン促進、ポリオデーの実施
・ポリオ寄付の推進(目標 *100,000*ドル(*40*ドル/１人))

「ポリオはいつ終わるのか」「まだやるの？」という声をよく耳にします。「あと少しと言ってから何年？」とも言われます。そう思われるのもよくわかっています。しかし、『1』と『0』は大きな違いがあります。『1』は２にも３にも増えやがて百千万となる可能性がありますが、『0』が存在しないので、増えることはないのです。その『0』への戦いが続いています。絶対に無理、とあきらめる前に「何ができるか」真剣に考えましょう。私たち日本は1980年代にポリオフリーになりました。が今でも子供達にはワクチン接種が続けられています。それは、この地球上にポリオウイルスが存在するからです。根絶すれば予防接種の手間もコストもなくなり、なにより不安から完全に開放されるのです。クナークRI会長エレクトも「**私たちは、世界の子供達にポリオを根絶すると約束しました。約束は必ず果たさなくてはいけません**」と語りました。約束を果たすために私たちのできることをしましょう。



RID2780 2020-21 年度：９つの地区目標

9.『1クラブ1プロジェクト』の
継続と奉仕プロジェクト支援

2019-20年度地区方針「1クラブ１プロジェクト」を継続し推奨すると共に、奉仕活動・奉仕プロジェクト実施のクラブ支援体制を整える。

2019-20年度第2780地区杉岡芳樹ガバナーは、昨年のPETSで「1クラブ1プロジェクト」の地区目標を掲げられました。とても素晴らしい具体的なアイディアであり、それはこれこそ単年度で終わらせるスローガンではなく継続してこそ、意義があるのではないでしょうか。2019-20年度に着手できていないクラブも、是非英知を結集し、2020-21年度には素晴らしいプロジェクトを創り上げて下さい。もちろん「従前より当クラブは持っている」というクラブもステップアップ、グレードアップして、頂きたいと思います。

皆様のご活躍を心からご祈念いたします。